

A white silhouette of Aomori Prefecture is centered on a light blue background with a fine grid pattern. The text is placed within this silhouette.

第 4 部

県民意識調査
結果の概要

令和6年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

1 調査の目的

「いわて県民計画（2019～2028）」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか、また、どの程度幸福度を感じているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- (5) 調査時期 令和6年1～2月（毎年調査）
- (6) 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画（2019～2028）」の10の政策分野に関連する57項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 幸福度
 - エ 家事時間及び生活時間
- (7) 回収者数 2,861人
- (8) 有効回収率 57.2%
- (9) 回答者の属性

【性別】	回答者数	割合
男性	1,316 (46.0)	
女性	1,510 (52.8)	
その他	2 (0.1)	
不明	33 (1.2)	

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	20 (0.7)	
20～29歳	123 (4.3)	
30～39歳	210 (7.3)	
40～49歳	371 (13.0)	
50～59歳	479 (16.7)	
60～69歳	638 (22.3)	
70歳以上	1,008 (35.2)	
不明	12 (0.4)	

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	866 (30.3)	
県南広域振興圏	846 (29.6)	
沿岸広域振興圏	655 (22.9)	
県北広域振興圏	494 (17.3)	

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	237 (8.3)	
家族従業者	81 (2.8)	
会社役員・団体役員	178 (6.2)	
常用雇用者	812 (28.4)	
臨時雇用者	326 (11.4)	
学生	38 (1.3)	
専業主婦（主夫）	331 (11.6)	
無職	662 (23.1)	
その他	84 (2.9)	
不明	112 (3.9)	

【子どもの数別】	回答者数	割合
1人	376 (13.1)	
2人	1,043 (36.5)	
3人	562 (19.6)	
4人	79 (2.8)	
5人以上	32 (1.1)	
子どもはいない	595 (20.8)	
不明	174 (6.1)	

【居住年数別】	回答者数	割合
10年未満	84 (2.9)	
10～20年未満	100 (3.5)	
20年以上	2,590 (90.5)	
不明	87 (3.0)	

(注)
小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

() 内は%

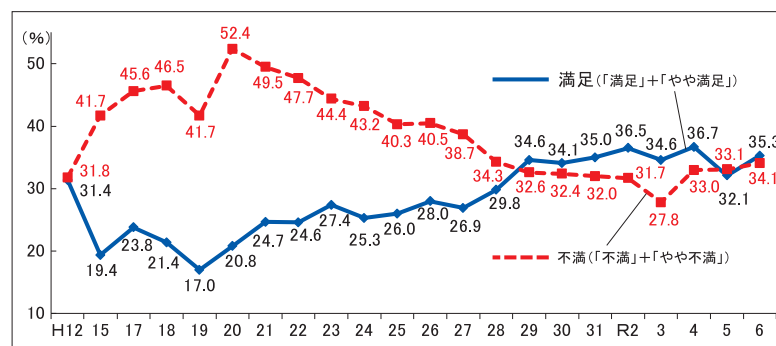
3 調査結果の概要

(1) あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

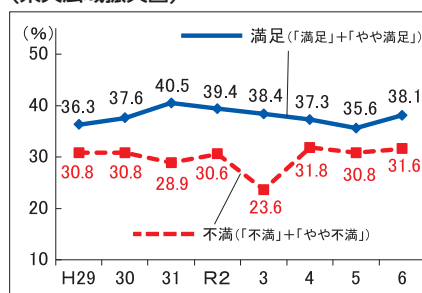
前回と比べて満足の割合が3.2ポイント増加

- 県計では、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が35.3%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の割合は34.1%となっている。
- また、令和5年調査と比較すると、満足の割合は32.1%から3.2ポイント増加し、不満の割合は33.1%から1.0ポイント増加している。
- 広域振興圏別にみると、満足の割合は、全ての広域振興圏で増加している。不満の割合は、沿岸では減少し、県央、県南及び県北では増加している。

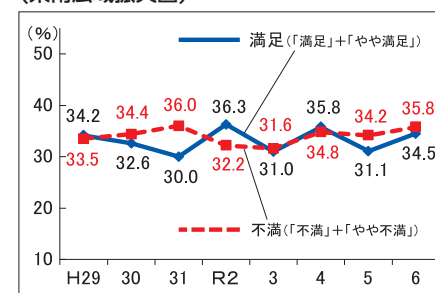
(県計)



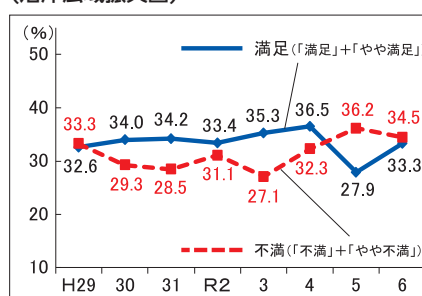
(県央広域振興圏)



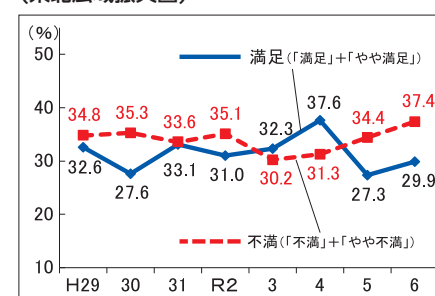
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



（2）あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「災害に強く安心して暮らせる県土」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」、「外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	項目
1	1	⑤	31 交通事故の少ない社会づくり
2	2	⑤	30 犯罪への不安の少ない社会づくり
3	5	⑨	53 災害に強く安心して暮らせる県土
4	4	①	3 適切な医療体制
5	3	⑤	34 感染症に対する備えが整っている社会

※ 項目は設問文を要約して記載。

重要度が低い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	項目
57	57	①	5 日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	①	6 身近な地域でスポーツを楽しむ機会
55	55	⑨	51 外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
54	53	④	27 外国人も暮らしやすい社会
53	54	①	1 身体の健康に関する相談・指導

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」となっている。
- 一方、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」、「公共交通機関の維持・確保」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	項目
1	1	③	21 県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
2	2	⑧	49 ごみ減量やリサイクルの定着
3	3	③	33 購入する食品の安全性に不安を感じない社会
4	5	①	3 適切な医療体制
5	14	⑤	34 感染症に対する備えが整っている社会

満足度が低い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	項目
57	57	⑥	36 商店街のにぎわい
56	56	⑥	42 農林水産業の担い手確保
55	54	④	24 公共交通機関の維持・確保
54	55	⑥	35 安定した就職環境
53	52	⑥	38 県内経済の活性化

【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」、「公共交通機関の維持・確保」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	項目
1	1	⑥	35 安定した就職環境
2	3	⑥	42 農林水産業の担い手確保
3	5	④	24 公共交通機関の維持・確保
4	2	⑥	36 商店街のにぎわい
5	6	③	17 いじめや不登校への適切な対応

ニーズ度が低い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	項目
57	57	①	5 日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	③	21 県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
55	55	①	6 身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	54	①	1 身体の健康に関する相談・指導
53	52	①	2 心の健康に関する相談・支援

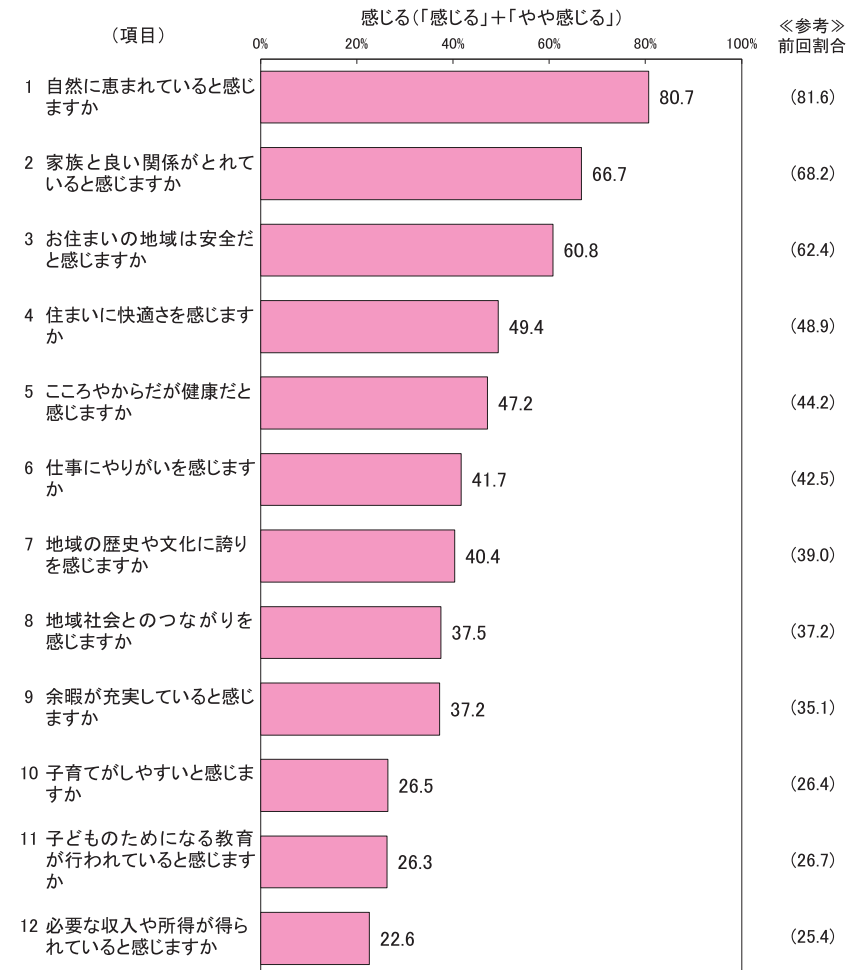
10の政策分野

- ①「健康・余暇」、②「家族・子育て」、③「教育」、④「居住環境・コミュニティ」、⑤「安全」、⑥「仕事・収入」、⑦「歴史・文化」、⑧「自然環境」、⑨「社会基盤」、⑩「参画」

（3）県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等について伺います。

（3）- 1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

- 「感じる」（「感じる」＋「やや感じる」）の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の80.7%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の66.7%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の60.8%となっている。



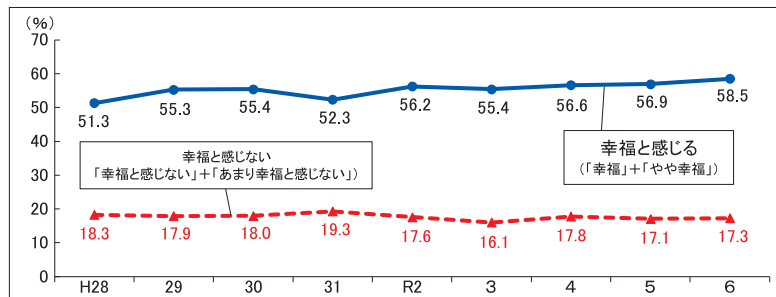
(3)-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

幸福と感じる割合が5割後半、全ての広域振興圏で50%以上

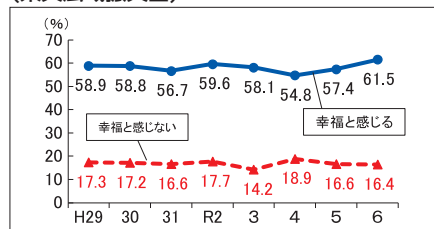
○県計では、幸福の割合は58.5%となっており、前回と比較すると1.6ポイント増加している。

○広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は、県央、沿岸及び県北で増加し、県南で減少している。幸福と感じない割合は、県南及び県北で増加し、県央及び沿岸で減少している。

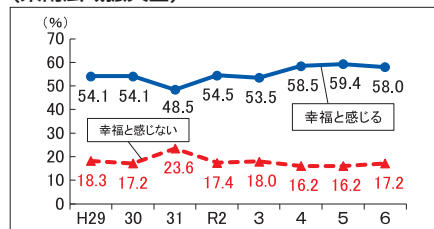
(県計)



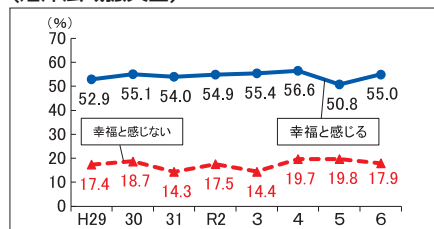
(県央広域振興圏)



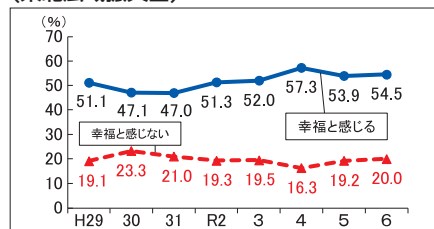
(県南広域振興圏)



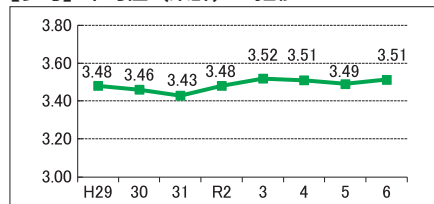
(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



【参考】 平均値（県計）の推移



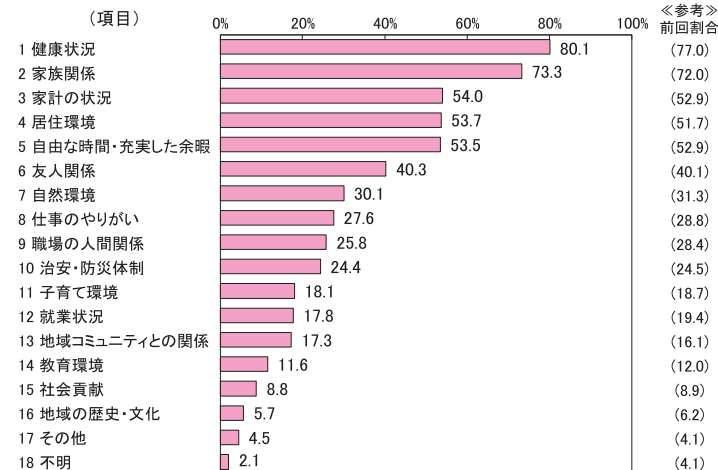
・平均値について

岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」で活用している主観的幸福感の平均値のこと。

「幸福だと感じる」から「幸福だと感じない」までの5段階の選択肢に応じて5点から1点を配点すると、県全体の平均値は5点満点中3.51点となりました。

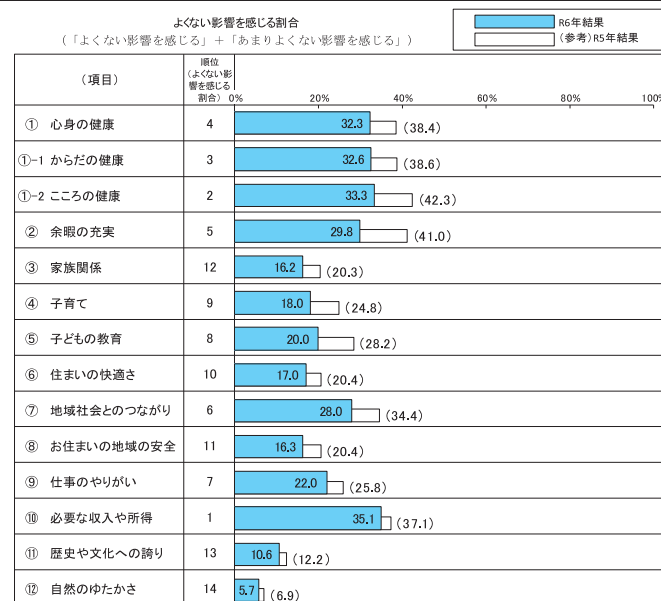
(3)-3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の80.1%、「家族関係」の73.3%となっている。



(4) あなたは新型コロナウイルス感染症の影響についてどのように感じていますか。

○分野別実感について、よくない影響を感じる（「よくない影響を感じる」＋「あまりよくない影響を感じる」）割合が高いのは、「必要な収入や所得への影響」の35.1%、「こころの健康への影響」の33.3%、「からだの健康への影響」の32.6%となっている。



【参考1】（2）の各調査項目一覧（重要度、満足度、ニーズ度得点）

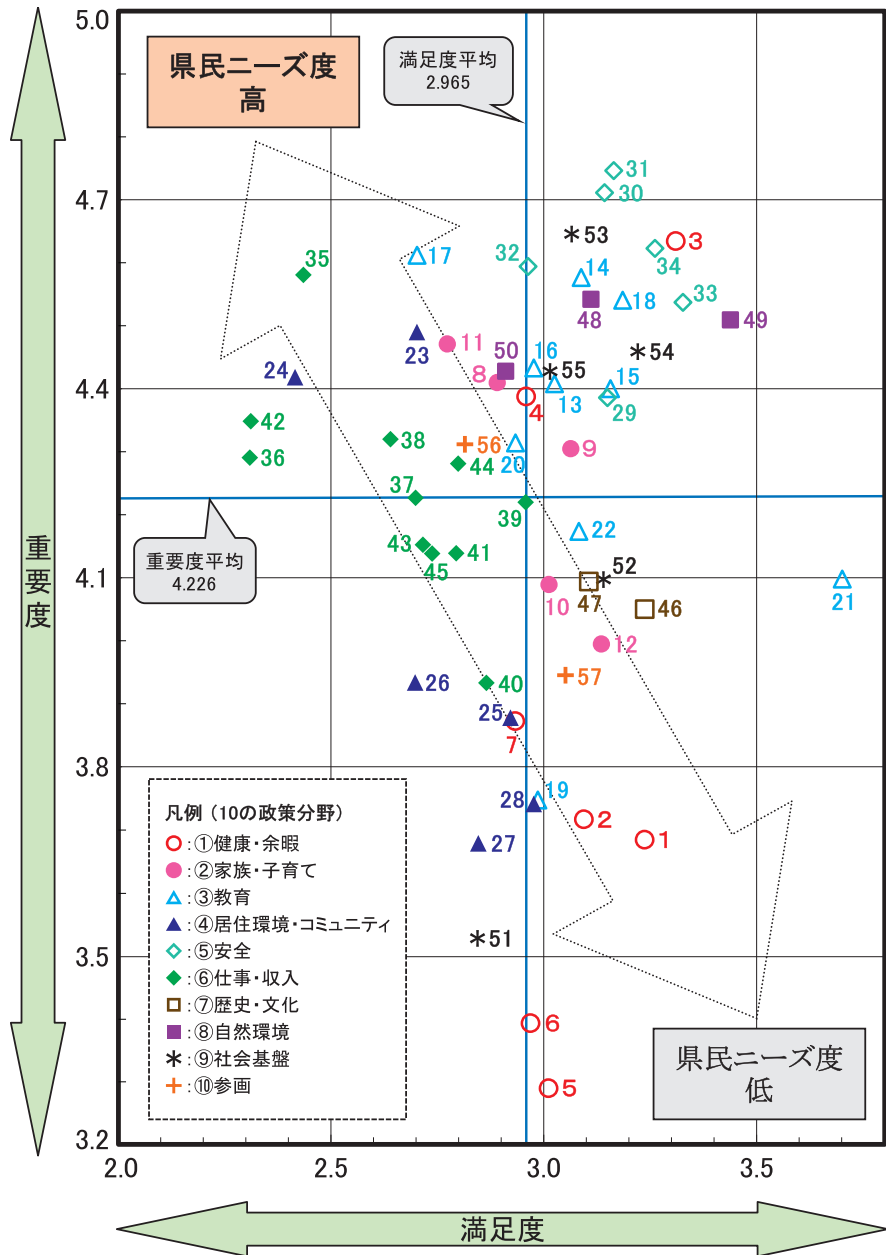
10の政策分野	No.	項目	重要度	順位	満足度	順位	ニーズ度	順位
①健康・余暇	1	身体に関する相談・指導	3.683	53	3.236	6	0.447	54
	2	心の健康に関する相談・支援	3.716	52	3.094	18	0.622	53
	3	適切な医療体制	4.635	4	3.309	4	1.325	30
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	4.388	24	2.959	33	1.429	22
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	3.287	57	3.011	27	0.276	57
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	3.391	56	2.970	31	0.421	55
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境	3.869	49	2.932	36	0.937	45
②家族・子育て	8	安心な子育て環境整備	4.410	21	2.893	39	1.516	15
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	4.304	30	3.064	22	1.239	34
	10	地域全体での青少年の健全育成	4.090	42	3.014	26	1.076	39
	11	仕事と生活を両立できる環境	4.472	15	2.773	46	1.699	7
	12	ペットなど動物のいのちを大切にできる社会	3.996	44	3.135	15	0.861	47
	13	子どもの学力向上に向けた教育	4.408	22	3.026	24	1.382	25
	14	人間性豊かな子どもの育成	4.578	9	3.087	19	1.490	17
③教育	15	子どもの体力向上や心身の健康保持	4.397	23	3.156	11	1.241	32
	16	全ての子どもが学べる環境	4.432	17	2.976	29	1.456	19
	17	いじめや不登校への適切な対応	4.612	6	2.704	49	1.907	5
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	4.541	11	3.185	9	1.356	28
	19	特色ある私学教育の充実	3.742	50	2.985	28	0.757	51
	20	次世代を担う人材育成	4.314	28	2.933	35	1.381	26
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	4.097	39	3.700	1	0.396	56
④居住環境・コミュニティ	22	大学の地域社会貢献	4.174	35	3.083	20	1.091	38
	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	4.491	14	2.699	51	1.792	6
	24	公共交通機関の維持・確保	4.418	20	2.416	55	2.003	3
	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	3.876	48	2.921	37	0.955	43
	26	移住・定住を増やすための取組	3.934	46	2.699	50	1.235	36
	27	外国人も暮らしやすい社会	3.676	54	2.848	41	0.828	48
	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.739	51	2.976	30	0.763	50
⑤安全	29	地域の協力による防災体制づくり	4.385	25	3.149	12	1.235	35
	30	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.710	2	3.142	13	1.568	12
	31	交通事故の少ない社会づくり	4.744	1	3.164	10	1.581	11
	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.593	7	2.963	32	1.630	9
	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境	4.536	12	3.329	3	1.207	37
	34	感染症に対する備えが整っている社会	4.621	5	3.263	5	1.359	27
	35	安定した就職環境	4.579	8	2.435	54	2.143	1
⑥仕事・収入	36	商店街のにぎわい	4.288	31	2.308	57	1.980	4
	37	中小企業の成長・発展	4.225	33	2.698	52	1.527	13
	38	県内経済の活性化	4.319	27	2.639	53	1.680	8
	39	地域資源を活用した製品開発・販売	4.218	34	2.955	34	1.263	31
	40	海外での県産品の販路拡大	3.931	47	2.864	40	1.067	41
	41	魅力ある観光地づくり	4.137	37	2.794	45	1.344	29
	42	農林水産業の担い手確保	4.347	26	2.310	56	2.038	2
⑦歴史・文化	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.151	36	2.716	48	1.436	20
	44	農林水産物の販路拡大	4.279	32	2.799	44	1.481	18
	45	活力ある農山漁村の形成	4.137	38	2.737	47	1.400	24
	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組	4.049	43	3.233	7	0.816	49
	47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境	4.093	41	3.105	17	0.988	42
	48	自然環境を大切に生活	4.542	10	3.108	16	1.434	21
	49	ごみ減量やリサイクルの定着	4.509	13	3.438	2	1.072	40
⑧自然環境	50	温暖化防止の取組	4.427	19	2.908	38	1.519	14
	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組	3.526	55	2.842	42	0.684	52
	52	情報通信技術の活用	4.094	40	3.140	14	0.955	44
	53	災害に強く安心して暮らせる県土	4.646	3	3.065	21	1.581	10
	54	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.458	16	3.218	8	1.240	33
	55	社会資本の維持管理	4.428	18	3.014	25	1.413	23
	56	個性と能力を発揮できる社会の実現	4.312	29	2.814	43	1.498	16
⑨社会基盤	57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会	3.944	45	3.049	23	0.895	46
	58	平均	4.226		2.965		1.262	

注）重要度（平均）、満足度（平均）は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

【用語の説明】

重要度（平均）：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。
 満足度（平均）：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。
 ニーズ度：重要度（平均）－満足度（平均）
 （重要度が高く、住民の満足度が低い状態を（行政）ニーズが高いと読む）

【参考2】（2）の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ー は各項目の平均値（重要度：4.226、満足度：2.965）

※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。